

2024. 8.26

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

2024 年 9 月テーマ

「ツーリズムにおける異文化間コンフリクトと創造的対話」

開催日程：2024 年 9 月 21 日(土)・28 日(土)

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2024 年 9 月の立命館土曜講座は、立命館大学国際言語文化研究所の企画として「ツーリズムにおける異文化間コンフリクトと創造的対話」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開催いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 9 月テーマ「ツーリズムにおける異文化間コンフリクトと創造的対話」

(1)日本外交にとっての聖地:侍とクリスチャン女性が見たワシントン DC

日時：2024 年 9 月 21 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:歴史都市防災研究所+Zoom ウェビナー

(2)アニメ聖地でおきていること~通俗的な聖地の形成とコンテンツツーリズムの可能性

日時：2024 年 9 月 28 日(土) 10:00~11:30

ハイブリッド開催 会場:末川記念会館+Zoom ウェビナー

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：「日本外交にとっての聖地:侍とクリスチャン女性が見たワシントン DC」

歴史都市防災研究所カンファレンスルーム:35 人、Zoom ウェビナー:400 人

「アニメ聖地でおきていること~

通俗的な聖地の形成とコンテンツツーリズムの可能性」

末川記念会館:180 人、Zoom ウェビナー:400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 9月テーマ「ツーリズムにおける異文化間コンフリクトと創造的対話」

(1)日本外交にとっての聖地：侍とクリスチャン女性が見たワシントン DC

日時：2024年9月21日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学文学部 教授 小川 真和子

講師による内容紹介：

日本の総理大臣は戦後、ほぼ全員と言ってよいほどワシントン DC を訪問する。アメリカ大統領と面会するためである。また大統領府であるホワイトハウスからさほど遠くない場所にどっしりと構える日本大使館の主、すなわち駐米大使になることは、日本の外交官にとってキャリアの到達目標であるという。日本外交にとって「聖地」であるワシントン DC は、これまで日米関係における重要な局面の舞台となってきた。そこで本日の講座では、江戸幕府が 1860(万延元)年に派遣した遣米使節団の一員として同地を訪問した肥後(熊本県)藩士、木村鉄太と、同じく肥後の生まれで 1906(明治四十)年と 1921(大正十)年に同地を訪問したキリスト教徒の女性、矢島楫の旅に焦点をあてる。二人ともホワイトハウスを訪問し、大統領に謁見する機会を持った。鎖国下の日本で育った木村の目にワシントン DC はどのように映ったのか。また日本が帝国として成長した時期に二度、ホワイトハウスを訪れる機会を持った矢嶋は、アメリカ大統領と何を話したのか。外国訪問が今よりはるかに困難であった時代に、太平洋を越えてワシントン DC を訪れた二人の肥後の男女の目線に立って考察する。

(2)アニメ聖地でおきていること～通俗的な聖地の形成とコンテンツツーリズムの可能性

日時：2024年9月28日(土) 10:00～11:30

講師：北海道大学観光学高等研究センター 教授 山村 高淑

講師による内容紹介：

2010 年前後から、アニメやマンガの舞台地を巡る旅のことを、宗教的な「聖地巡礼」という語を通俗的に転用して「聖地巡礼」と呼んだり、「コンテンツツーリズム」と呼んだりすることが一般化しています。さらに 2010 年代後半からは、インバウンド旅行者の増加に伴い、日本国外からもこうした通俗的聖地巡礼者(コンテンツツーリスト)が急増しています。こうした中、アニメやマンガといったジャパンコンテンツに対し、言語や文化の枠を超えて交流を促進する「有効なツール」になっているという評価がなされるようにもなりました。しかしその一方で、そうしたコンテンツそのものや聖地巡礼行為が、様々な「文化的衝突(コンフリクト)」を生んでいることも事実です。講演者は 15 年以上にわたり、国際共同研究を通して、こうしたコンテンツツーリズムの可能性と課題について研究を行ってきました。本講座では、国際共同研究で取材した様々な事例を取り上げつつ、以下の三点について皆さんと考察をしていきたいと思えます。第一に、通俗的な聖地が生まれるプロセスとは、どのようなものなのでしょうか？ 第二に、越境するコンテンツや、そうしたコンテンツが生むツーリズム(コンテンツツーリズム)は、どのような文化的衝突・コンフリクトを生んでいるのでしょうか？ 第三に、コンテンツツーリズムには文化を超えた建設的な対話を生む可能性はあるのでしょうか？

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>